

こどもに-を応援くださる皆様へ

今年の春の訪れは例年より早く、フリースクールの子どもたちとは
予定を繰り上げてお花見に行きました。

実際行くと、桜を観るよりカナヒ探し夢中になり、桜ではなく
カナヒが冬眠から覚め、活動を始めたことに“春”を感じていたようです。

こどもに-では、新年度を迎えると同時に、放課後児童クラブの
事業がスタートしました。春休み中ということもあり、子どもたちの“遊ぶ”
へのエネルギーをたくさん受け取りながらの数日間でしたが、今、新
学期もはじまったので、子どもや保護者の方々と環境づくりをしてい
きたいと思っております。ゆるりゆるりと...。そんな感じで

相変わらずバタバタとノボりました今年度もですが、子どもの成長を
地域の一員として見守り、“場”を創っていきたく願っています。

今後ともよろしくお願ひします

代表理事 田中雅子





～いつも仲間と一緒にいて、驚くとココロ丸くなると可愛。だんご虫は、子ども達の大切なお友達～

あの頃の記憶は今のエネルギー

二人の出会いは2011年の終わり。Aちゃんが6歳、すーさんは…何歳だったのだろう(笑)

なにもない空き地に、みんなで遊具をつくっていたあの頃。元大工さんのすーさんは、週末になると自転車で黄金浜にやって来て、大工道具の使い方を子どもに教えながら、ウッドデッキや看板づくりなど、なんでも一緒にやってくれた人の一人です。

子どもたちは、いつもすーさんが大工道具を使いこなす姿をジーッと真剣に見つめていました。

Aちゃんもその一人です。



ある日、Aちゃんはすーさんに「お魚の形に切って」と魚の絵を描いた板を持ってきました。私的には「それはイトノコじゃないと無理でしょ」と思ってい

ましたが、すーさんは見事に手ノコで切り、それをみた彼女は「すーさんすごい♪ ありがとう」ととても嬉しそうに大事にもって帰りました(笑)

すーさんは、男性には厳しくて(笑)怖がられることもあったけど、子どもには優しくてみんな大好きでした。

そんなすーさんが2017年に命の危機に見舞われ、長期入院をしたことがあります。

中学生になっていたAちゃんもとても心配し、一緒にお見舞いにいったことがあります。ベツに横になるすーさんにAちゃんが声をかけた時、目に涙をためて喜んだすーさんの顔を今でも忘れられません。

嬉しいことに、その後すーさんは回復して、今は老人施設で暮らしています。

コロナウイルスの影響で、面会が認められないまま数年経ってしまいAちゃんもすーさんに会えていませんでした。でも、今年から大学進学で石巻を離れることが決まったAちゃんが「すーさんに会いたい」と言ったので施設をお願いをしたのですが、残念ながら叶わなかったため、電話で三人で話しました。

電話越しのすーさんの声は入所前と変わらず元気で、冗談も織り交ぜながらAちゃんに「向こうに行っても元気にやるんだよ～帰ってきたら会いに来てね～」と話していました。

電話を切った後、Aちゃんは「すーさんが元気で安心した。私にとってのおじいちゃんだもん。やっぱりすーさんはすーさんだなぁ。私もがんばろうと♡」

すーさんにとってもAちゃんにとっても、あの頃から積み重なった思い出が、お互いのエネルギーになっているように見えました。すーさんにとってはAちゃんが間違いなく元気の源だっただろうな～♡

代表理事 田中雅子(通称:ける)

☆認定NPO法人こども∞感ぱにー(愛称:こどぱにー)とは…

2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どものあそび場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに”を理念に、地域のみならず一緒にプレーパークやフリースクール事業などを行っている団体です。

こどばにー創立10周年!

みなさんのご支援、ご協力に支えられ、こどばにーは2023年1月15日に創立10周年をむかえることができました! 本当にありがとうございます。

それを記念して、2月12日に**10周年記念式典を開催!**

この10年に関わってくれた子どもや地域の大人、同じ思いをもって子どもを支えてきてくれた仲間たち、総勢80名以上が集まり、盛大にお祝いました! けろちゃんを担いだ筋肉マッチョメンズと子ども神輿の「オープニングセレモニー」から始まり、この10年をみなさんと遊びながら振り返る「10年すごろく」、子どもたちの生の声を聞いてみる「子どもディスカッション」、こどばにーを支援、共に活動してきた仲間を表彰する「表 showtime」、こどばにーのこれからをスタッフが語る「スタッフディスカッション」と、盛りだくさんの内容でたっぷり感謝を伝えさせていただきました。



スタッフだけでつくりあげる式典ではなく、理事や正会員、いつもお世話になっているお母ちゃんやお父ちゃん、子どもたちと一緒につくりあげるとても「こどばにーらしい」式典になったと思っています。

また今回会場の都合上、参加できなかった方もいらっしゃいます。本当に申し訳ございません。式典の中で感謝を伝えきれなかった方にも改めてこの場で感謝を伝えさせていただきたいと思います。

これまで支えていただき本当にありがとうございます!

式典の内容を全てお伝えするということではできませんが、感動したとの声を多数いただいた「子どもディスカッション」から子どもたちの声をみなさんにお届けしたいと思います!



普通の公園は『大人がいなくて当たり前』だけど、私にとっては『大人がいて当たり前』だった。そこにいる大人は「あれをやりなさい」って言わず、やりたいことを一緒にやってくれた。大人と子どもは『縦の関係』になりやすいと私は思うけど、ここは縦でも横でもない『斜めの関係』で親しみやすい。けど、困った時に相談をしたらちゃんと聞いてくれたし、学校にいけない時も助けてもらった。

私にとってありがたい環境だった。こういう場がいろんなところに広まったらいいなと思います。(Aさん)

幼稚園の頃からプレわたに来ていたから、けろちゃんとめっちゃ仲いい。学校にあんまり行けてなかった時期も、合宿とかキャンプとかに行ったのは楽しかったし、家の中にいた時よりも楽しかった。過ごしやすい環境だったなって思います。

(Cさん)

フリースクールやプレーパークに行くようになってから、自分が活発になったように感じます。ずっと家にこもってばかりだったから、体を動かすことができストレス解消にもなりました。

(Bさん)



(わこう)

Op: 10周年をむかえて…

これまでたくさんの方に出会い、支えられ、見守られて、創立から10年を迎えることができました！
改めまして、本当にありがとうございます。

東日本大震災により、子どものあそび場、居場所がない…という状況から地域の方や子どもと一緒に始まったこどばに一の活動。この10年、たくさん子どもたちと出会い、大切なことを教えてもらいました。

「子どもの可能性を信じる大人であり続けること」

私たち大人は、子どもが自由に選択し考える場所と時間をつくり、見守っていく。そして、子どもがしんどいときにその心の声に耳を傾け、受け止める。そんなことが役目なのだと思っています。こうした環境が子どもの周りに“当たり前”にあり、安心して暮らせる地域で子どもたちが育まれていくためにこれからも活動していきたいと思えます！

(わこう)



Op: 10周年記念冊子完成！



10周年を記念して冊子を作成しました！（会報誌に同封されています。）

こどばに一の創立から現在までの10年間の歩み、プレーパーク・フリースクールの活動の様子、こどばに一と一緒に子どもを支えてくれた仲間たちからのメッセージなど、こどばに一の10年間がたくさん載っています。

また、こどばに一がこれからどのようなことに取り組み、どのような地域・風景を目指していくのかも書かれています。

こどばに一のこれまでとこれから、そしてこどばに一今の想い。その全部が詰まった中身の濃い冊子となっているので、是非ゆつくりと隅々までお読みください！これを読めばあなたもこどばに一マスターに！！！！

(わこう)

Op: これからも子どもたちを支えていくために

不登校や子どもの貧困など、今日の子どもの取り巻く社会課題は深刻化しています。その中でこどばに一は、これからも石巻で子どもの心に寄り添う居場所やあそび場をつくっていくことが必要だと考えています。

しかし、震災から12年たった今、復興にひもづいた助成金や寄付が収束をむかえようとしており、このままでは継続した活動が難しくなっていきます。みなさんもこどばに一の仲間になって、子どもたちと一緒に支えていただけないか？



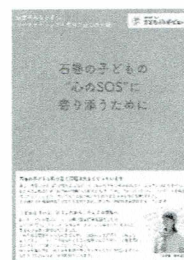
①継続サポーター

毎月一定額のご寄付により、子どもの居場所・あそび場の活動を継続的にサポートしていただけます。詳しくはこどばに一HPの「寄付ページ」をご覧ください。



②企業協賛

こどばに一と共に子どもを支えていただける企業を探しています。ご興味ございましたら、ご連絡いただいた際にスタッフが詳しくご説明させていただきます。



※こどばに一は認定NPO法人なので税制優遇を受けることができます。詳細はHPをご覧ください。

春だあ〜っぴなっぴかの声

この春進学や就職した子たちに、「それぞれの場でやってみたいこと」をインタビューしました！
ステキなやりたいことや頑張りたいことを聞かせてくれました！
みんな充実した新生活を送れますよーに！

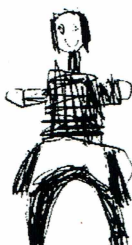
(ロッキー)



新小学生

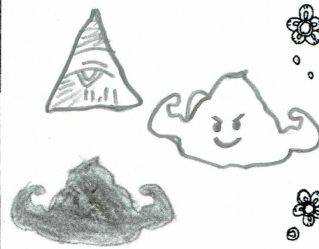
とんてみ
とびばー
100ますろ

M・Aちゃん



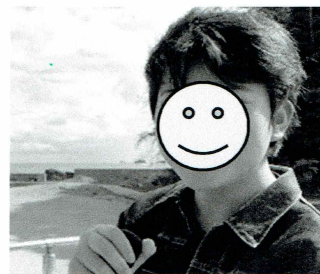
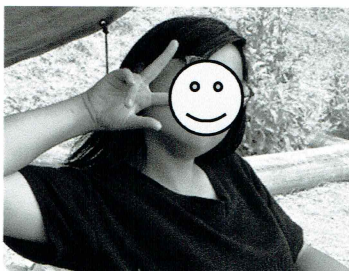
新中学生

T・Hくん



柔道で渡波一位にたつた

新高校生



高校で元気がいいことね。
バイトです。
理由は、自分で稼いだ金がないため、大変さを知りたいからです。

N・Aさん

高校に入、たがバイトがしたいです。
なぜバイトしたいのかというと、
高校生のうちからお金を稼ぐことの
大変さを経験したいからです。
そのほかにも親孝行が自分のためにも
お金を使いたいからです。

T・Tさん

新社会人

この一年で元気がいいことね
自分の牛乳を飲むので一生懸命がんばる
(人生)

時間は有限 力は無限

K・Kさん



プレわたあは

∞: 遊びがつなく輪

最近プレわたには渡波小学校の子どもだけでなく、お隣の鹿妻小学校の子どもたちも来ています。中学生になると同じ学校に通うことになる子どもたち。けれどもその交流の場はなかなかありません。

それでもプレーパークに来ると、学校が違うにもかかわらず自然と一緒に遊び始める。焚き火をしたり、鬼ごっこをしたり、時にはケンカもしたり。

別の小学校の6年生2人が遊んでいるところに「卒業したら来年から同じ中学校だね！」なんて伝えても、「ああそうなんだ、よろしく。」「おう。」みたいに全然驚かない。

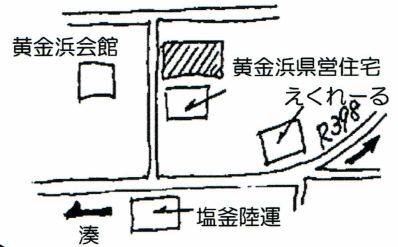
子どもにとっては「今このプレーパークで一緒に遊んでいる仲の良い子」でしかないんだなぁと改めて思います。

学校が違う、年齢が違う、性別が違う。そんなこと関係なしに遊ぶ中で繋がって、仲良くなって、また遊んで。そうしてできた関係はプレーパークの外に出ても続いている。

卒業して、新しい学校に行っても既にプレーパークでつながっている仲間がいるから何も怖くない！

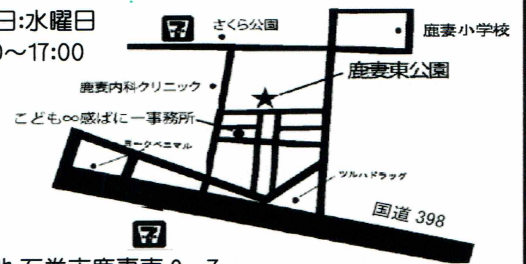
(わこう)

毎週土・日曜日 10:00~16:00
毎週金曜日 15:00~17:00
所在地:石巻市渡波字黄金浜 157



プレパーク ひがこ

開催日:水曜日
15:00~17:00



所在地:石巻市鹿妻南 2-7

∞: いろいろな子どもと関われる場所って素敵だなあ

私がひがこに関わらせて頂いて、早くも8ヶ月が過ぎようとしています。毎週ひがこに入っていて、少しずつ名前を憶えてくれている子が増えてきて、嬉しく感じています。

そんな中で、よく「学校では味わえないことが体験出来ているなぁ」と思っていることがあります。それは、年齢、学年を問わず様々な子が一緒に遊んで過ごせる場となっていることです。

常連低学年の男の子。いつもは学年が上のお兄さんお姉さん、同い年の友達と遊んでいるのに、未就学の子も達が来た時は違いました。未就学の子達を見つけると、すぐに駆け寄って、お母さんの代わりにベビーカーを押ししたり、鬼ごっこやシーソーをしたりと面倒を良く見ていました。普段は未っ子のように甘えた様子で、スタッフにも「これやって〜」と言ってくるのに。未就学児のお母さんも「面倒見てくれて助かる〜」と話していました。

年齢学年を越えて関わることで、時にはお兄さんお姉さんになったり、時には年下として甘えたり、いろいろな関わり方を自然と学べる場所だなと感じました。素敵！

(もっちゃん)



ぼはっく

毎週火・木・金曜日
10:00~16:00
当会事務所1階で開催
体験無料。減免制度あり

合格がスタート!



今年も迎えた受験の季節。今年は2名が高校進学に向けて入試に臨み、二人とも無事に進路を決めることができました!!!

ぼはっくでは受験勉強はもちろん、面接練習に力を入れました。途中、思うように話せずくじけそうになったこともありましたが、二人とも本当によく頑張りました!

でも、合格がゴールではありません。この先の高校生活で躓くこともでてくるかもしれない。ぼはっくはいつでも帰ってきていい場所だから、安心して高校生活を過ごして欲しいです!

みんなのこれからに幸あれ!!!

(ロッキー)

みんなで生活するぞー!

今年も行ってきましたぼはっく合宿!
今年是一日目にボルダリング体験、二日目にスノーボード体験と、身体を動かすアクティビティばかり(笑)そんな2泊3日の様子をご紹介します!



こちら初挑戦のボルダリング。
みんなどんどん登ってく...
コツをつかむのが早いなあ。



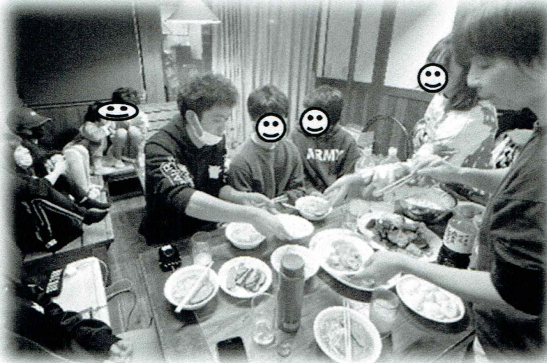
お料理 part1~BBQ~
火熾し、食材カットなど担当を決めて準備。自分が食べるのも忘れて焼くことに夢中になる子も(笑)



「滑れたー!」
初めてなのに、バランスとれる子が多くて驚きです。



ソリ滑りも楽しいよー!



みんなで囲むご飯は美味しいね!



お料理 part2~豚骨ラーメン~
豚骨から出汁をとる超本格的なラーメン作りに挑戦。
あまりの上手さに15人前が秒で消えました(笑)

合宿中のあれこれを自分たちで決めたので、普段は片付けにあまり積極的でない子も、合宿中は「この荷物は車に積んでもいい?」と、主体的に行動していました。みんなで生活するっていいねー!
(ロッキー)



うほほーい

ピカリちゃん

学校に行かない・行けない子どもについて、けるがメッセージをお届けするコーナーとしてここでは、彼らを“ピカリちゃん”と呼びますね。理由はどんな子どもピカリと輝いているから



「不登校」を守る法律を知っていますか？

其の5

みなさん、『教育機会確保法』って知っていますか？
2017年に施行された、正式名称『義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律』です。

この法律は、ピカリちゃん当事者・親の声をもとに生まれた、一人ひとりにあった学びの場を保障していこうという法律です。これによって…

全国で24万人を超える『不登校』の子どもたちがフリースクールのような学校以外の学びの場で過ごす選択肢が認められました。

保護者は、子どもに無理に学校に行かなくていいよと、負い目を感じずに言えるようになりました。学校の先生は、子どもが辛い時、無理して学校に

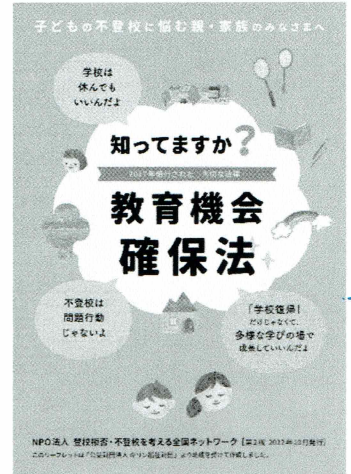
来てくださと言わなくてよくなりました。

地域の人には、『不登校が問題行動でない』ことが分かり、地域で子どもを支えていくという認識が生まれました。

ご自分のお子さんがピカリちゃんでも不安に思わず、法律で守られているので安心してくださいね。

不安に思わなくて大丈夫です。

次回は法律に記されている具体的な内容をご紹介します。(ける)



NPO 法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク発行

同じ想いを 人たちの

ネットワーク活動

●まずは石巻から“不登校”という言葉 をなくしたいネットワーク

(愛称:まーしいね)

「子ども一人ひとりが、自分にあった学びの場に出会い、安心して喜ばせる社会をつくる」を理念に、2021年5月に設立。多様な分野の市民が集い活動しています。



「不登校」シンポジウム開催

今回は、『不登校』支援に関わる民間団体や教員、教育委員会、市議会議員など、60名の方が参加し、不登校支援についてみなさんと学ぶ機会となりました。

プログラムは

- 1.『不登校』とは？と題して、その要因についてお話
- 2.『教育機会確保法』について、文部科学省の方が説明
- 3.学校と民間団体の連携事例紹介

でしたが、私は「3」の事例紹介で小学校の教頭先生と登壇し、子どもを真ん中に置いた連携についてお話をしました。

支援者側が『不登校』について共通認識を持たせた時、各専門家それぞれの強みを活かして、その子にとっての最善の対応を話し合えることはとても大切だと思っています。

『不登校』の要因は100人いたら100通りあると言っていると、これまでの子ども達をみて感じています。

だからこそ、学校に行けない行かない子どもの気持ちや保護者の気持ちに寄り添った支援体制をつくれたら嬉しいです。

それが、子どもも保護者も孤立しないことにつながると思っています。(ける)





今回は牡鹿と一緒にプレーパークを開催した「ゆうじろう」に移動あそび場の感想を寄稿してもらいました！

🐾 牡鹿にあそび場がやってきたー！

(えりっちょ)

私はずっと子どものあそび場を継続的にやりたいと思っていた。けど、仕事や日常に追われ出来ず、移動あそび場のお誘いが来た時「これだー！」と思った。この活動の画期的な事は、伴走型である事だ。発芽したいのに最後の栄養がすこし足りない地域のあそび場の芽に、土地にあった適切な栄養を与えてくれる。きっと、まだまだ地域にあそび場の芽は眠っていて、今か今かとタイミングを待っている。地域の芽を育て、花を咲かせるえりっちょは花咲じいならぬあそび場発芽ねえちゃんだ！



11月開催した時のこと。寒いのに海でばちゃばちゃ、砂場でワイワイ、炭火で食べたいもの焼いた。クサフグ、アメフラシと触れ合い、太鼓のおんちゃん達、ゆるやかに繋がるママパパ達。遊び場は自然を真ん中に子どもも大人もとっても楽しい時間。初対面の子どもたちは、あっという間に友達になる。子どもたちが喧嘩しそうになると見守る大人もいれば、すぐに止めにはいる大人もいた。あー考え方って多様なな～(いいね!!)。これから遊びと対話を重ねお互いの考えを認め合い、育ち合えたらいいな～。移動あそび場支援で発芽した牡鹿のあそび場をゆるやかに無理なくよきよきみんなまで育てていきましょう。「たのしかった！」by いっぽ (ゆうじろう)

ほろがぞ! 児童クラブ

児童クラブの新スタッフ研修実施!

4月からはじまる放課後児童クラブの運営を前に、新スタッフ研修を2回実施しました。研修1回目は、日本のプレイワークの第一人者である(一社)TOKYO PLAY代表の嶋村仁志氏をお招きし「子どもの主体性の尊重とプレイワーク」についてレクチャーいただきました。「生活・教育・医療・遊びなど様々なレンズを通して子どもを見守り、育ちを支援していく」という話が、新スタッフの心にビビッと来たようで、さすが嶋村氏!と心の中で喝采をあげていた私でした。

2回目は、“プレーパークわたのは”での現場研修。題して「同じ釜の飯を食う」仲を目指せ!雨の中、ブルーシートの屋根で雨をしのぎ、ブロックで竈をこしらえ、廃材をナタで薪にし、マッチで火をつけ、羽釜でご飯を炊き、持ち寄った食材を焼いて共に食べる…

●放課後児童クラブとは

保護者が就労等により家庭に不在となっている子ども(小1～小6)を対象に、放課後や長期休みに家庭に代わる生活及び遊びの場を提供する事業。

かつては学童保育と呼ばれることが多かったが、社会情勢に対応し様々な法整備等が行われ、子どもの「居場所」として認識が刷新され、厚労省の審議会ではスタッフに必要とされる専門性として「プレイワーク」についても言及されている。

役割分担しながら苦勞して熾した火が、見事に新スタッフのチームワークを炙り出してくれて実りある研修となりました。

さあ、いよいよ始まることばに一の児童クラブ。続報をお楽しみに!! (なおたろう)





「不登校」の居場所に関心高まる？

先日、第2回目の石巻市主催”子どもの居場所懇談会”が開かれ、教育委員会や福祉部の市職員の方々と市内の子ども食堂や不登校支援団体などの職員約20名が『不登校児童の今後の支援』について意見交換をおこないました。

それぞれが、不登校の子どもへの熱い想いをもっていると感じる一方、『不登校』への認識の違いや温度差も感じた時間でした。

そもそも『不登校』はどうして起こるのか？その子どもたちがどれほど悩んでいるのか、そこを理解していたら出てこない発言がたくさん聞こえてきて、「う～んどうしたら共通認識がもてるんだろう」と考えています。

終了後「もっともっと不登校理解への学びの場や情報交換の場が必要だね。」と支援団体の仲間と話しながら帰ってきたので、今年度はそんな『場』をたくさん開いていきたいな～と思います。(けろ)



昨年開催した、不登校理解についての勉強会風景

のびちび母時記

プレーパークわたのはで出会った乳幼児親子の群れ“のびちび”。

このコーナーは母が綴る日々の記録です。

春ですね！未就学児親子をずっと見守ってくれているきみちゃんちにも、春が来たー！
(えりっちょ)

春がきた！

元こどばにースタッフのきみです♪1月26日に男女の双子を出産しました！名前は藍(あい)と凧(なぎ)です。どうぞよろしくお祈りします♪

予定日より1ヶ月早く小さく生まれたふたりは、NICU(新生児集中治療管理室)のスタッフの皆さんに24時間体制でお世話になりながら、病院でスクスクと育っています。コロナの影響で母親の私しか面会に行くことができないので、写真と動画をたくさん撮って、夜な夜な旦那さんと愛でたり、我が子の成長ぶりに感動したりしています。

妊娠中はのびちびで知り合ったお母さんたちに支えられて、出産前からママ友がいるという最強の環境で特に不安なく過ごすことができました。みんなありがとー♡

3月末には子供たちも退院して新しい生活が始まります。春めいきてお出かけ日和の今日この頃、家族揃ってピクニックやキャンプにも行きたいなー♪これから子どもたちと過ごす毎日にドキドキワクワクが止まりません♡

(きみ)

事務局からのお知らせ

「みやぎチャレンジプロジェクト」のご報告とお礼

「目標 200 万円達成しました！！」

2022 年 12 月 1 日～2023 年 2 月 28 日の 3 ヶ月間、“プレーパークわたのは”の活動継続のための募金活動を行い、総勢 100 名を超える方々からご寄附をいただきました。

皆さまのご支援とご協力のおかげで 2,226,036 円の募金が集まり、目標を達成することができました！

寄附をしてくださった方、Facebook をシェアしてくださった方、募金箱を設置してくださった方、街頭募金で協力してくださった数えきれない方々、ありがとうございます！たくさんの方に支

えられ活動を継続でき、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです！本当にありがとうございました！（みー）



ホームページをリニューアル

こどばにーの活動と取り組む課題を多くの方に知ってもらい、応援していただけるように、「寄附ページ」をリニューアルしました！ここでは、石巻の子どもを取り巻く課題や、寄附者さま・子どもたちの声などを掲載しています。

私たちの活動は、皆さまのご支援により続けていくことができます。私たちと一緒に、子どもを支える仲間になってください！よろしくお願いたします！（みー）



みーのひとこと

今年は、花粉症がとてもひどい。ここ 3 年くらいは、落ち着いていたのに…。東北の花粉の量は、例年の 1.8 倍だとか。

こどばにーのスタッフやフリースクールを利用する子どもたちは、花粉症の人が多いようで、事務所のあちらこちらから、くしゃみと鼻をかむ音が聞こえています（笑）

「早く花粉の時期が過ぎないかな」と思う、今日この頃です。

（みー）

こどばにー通信「だん子むし」発行元

認定 NPO 法人こども∞感ぱにー

宮城県石巻市鹿妻南 2-1-7

Mail: info@codopany.org

Tel: 070-2436-8517 (事務局)

HP: <https://codopany.org/>

<継続サポーター募集中>

月額 300 円から、継続サポーターにご登録できます。確定申告をすると、税制優遇によりご支援額の最大約 50% が還付されます。詳しくは、事務局までお気軽にお問合せください。

活動の様子を配信していますので、是非ご覧ください！

Twitter Facebook

こどばにー

検索



（みー）